

たしかめプリント解答【小学校4年生】数と計算

①	(1) 4	(2) ア 521 イ 70
---	-------	----------------

②	(1) ウ 6.52 エ 0.22 オ 6.3
	(または、ウ 6.52 エ 6.3 オ 0.22)
	(2) いちばん小さい数・・・7 いちばん大きい数・・・7.1

③	(1) 4.95	(2) 5.99	(3) 1.65	(4) 14.3
	(5) 7			

④	(1) 20	(2) 7	(3) 0.4	(4) 1.2
	(5) $3\frac{6}{7}$			

⑤	(1) 2, 3, 4	(2) 3
---	-------------	-------

⑥	2
---	---

(解答例)

- ⑦ 横に並んでいる7つの数「4, 6, 8, 10, 12, 14, 16」の和70は真ん中の数10の7倍になっています。

⑧ ㊦ $4 \times 8 + 5 \times 8$

① $(4 + 5) \times 8$

(解答例①)

黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の輪の個数は、 $30 \times 14 = 420$ で、420個です。

黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数は、 $420 \div 5 = 84$ で、84枚です。

だから、折り紙の枚数は、100枚あれば足りません。

(解答例②)

輪かざり1本を作るために必要な折り紙の枚数は、 $30 \div 5 = 6$ で、6枚です。

- ⑨ 折り紙100枚から作ることができる輪かざりの本数は、 $100 \div 6 = 16$ あまり4で、16本です。

だから、折り紙の枚数は、100枚あれば足りません。

(解答例③)

黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の輪の個数は、 $30 \times 14 = 420$ で、420個です。

折り紙100枚から作ることができる折り紙の輪の個数は、 $5 \times 100 = 500$ で、500個です。

だから、折り紙の枚数は、100枚あれば足りません。

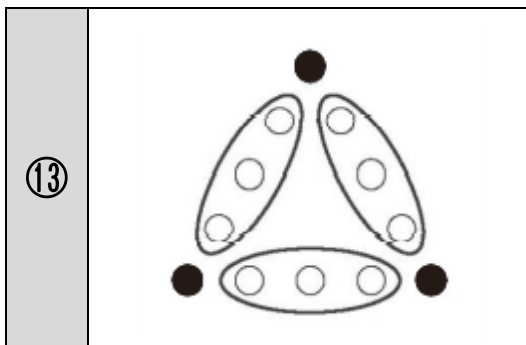
⑩

7

(解答例)

⑪ わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数でわっても、商は変わりません。

⑫	①(例) $\times 2$		②(例) $\times 2$	
	㊦(例) 1200	㊧(例) 30	㊨ 40	㊩ 40



⑭ (式) $4 \div 8$ (答え) 0.5 ($\frac{1}{2}$)

(解答例)

⑮ 30mを1としたとき、0.1にあたる長さは3mです。
12mは、3mの4つ分になるので、30mを1としたときの0.4にあたります。